

○ 1月23日(火)

## スクールミーティング(府立須知高等学校)

---



### ○ 平塚 委員

今回は「環境・食育」に取り組んでおられる府立須知高等学校を訪問しました。学校環境が京都府中部の山間地に位置し、地元の京丹波町立蒲生野中学校や京都大学大学院と共に「里山～人と森の調和と共生～」をテーマに積極的に取り組まれていました。須知高等学校には“学校林・ウィードの森”があり、その森や里山の作物、栽培した食物の加工などを行い、里山からの教育資源を活かした活動を実践しています。この里山での体験活動を通じて考案する観光プランの取組も他校にも無いもので、自然環境を考えるに大変特色あるものと感じました。また、地元蒲生野中学校生が、将来須知高等学校に入学し「里山を守り育てる番人」に育っていただき、「明日の『京都丹波』を担う人作り」を目指して励んでいただきたいと考えております。

今後も、環境・食育パートナースクールの活動の充実のため、学校関係者並びに地域の教育委員会をはじめ、御指導をいただいております京都大学大学院の御協力と、京都府教育委員会の支援を願っています。

○ 1月23日(火)

## スクールミーティング(府立須知高等学校)

---



### ○ 上原 委員

当日は蒲生野中学校生と須知高校生の課題研究発表と京都大学大学院生のプレゼンを見させて頂きました。中学生は地元丹波の魅力や食について、高校生は食品科学科で学んだ専門性を活かした課題を設定して研究を進めた成果を発表しました。どの発表も生徒たちが自発的に取り組んだ姿勢が表れていました。発表後に生徒達とミーティングをして、研究を進める中で仲間との関係を深められたことが大きな成果の一つと感じられました。子どもたちの今後の成長が楽しみになる研究発表会でした。

---



### ○ 千 委員

須知高等学校は、明治9年に創立された京都府農牧学校を前身とし、農林学校を経て現在の形態になっています。140年前のジェームス・ウィード先生のフロンティア精神を今に伝える探求的学習と地域連携を大切にしている学校です。

普通科では生徒一人一人を大事にして習熟度別の授業や取組を行っています。

食品科学科は「食品加工コース」と「公園管理コース」に分かれていて、食品加工コースでは地元の京丹波町の特産品を使った商品の開発、販売にも重きを置いています。ヨーグルト飲料も美味しかったです！公園管理コースは黒豆の栽培管理をし、また、広々とした“ウィードの森”を整備し、その活用を探っています。